

社会専門

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
平成30年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験

注 意 事 項

1 試験時間等

専門科目の試験問題数は67問で、解答時間は1時間45分です。

2 解答用紙への氏名等の記入

はじめに、解答用紙に学校名、氏名を記入してください。次に、右側の一番上の欄に受験番号を記入し、その下のマークシートの欄には、受験番号の英字及び数字に対応する○を、次表の例にならって塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1 6 A 0 1 2 - 3 4 5 6 H の場合

平成30年度
社会福祉士全国統一模擬試験
精神保健福祉士
(社会専門) 解答用紙

学校名	ソーシャルワーク大学
氏名	ソ 教 連 子

受験 番 号	1	6	A	0	1	2	-	3	4	5	6	H
	①	①	●	●	①	①		①	①	①	①	Ⓐ
	●	①	Ⓑ	①	●	①		①	①	①	①	Ⓑ
	②	②	Ⓒ	②	②	●		②	②	②	②	Ⓒ
	③	③	Ⓓ	③	③	③		●	③	③	③	Ⓓ
	④	④	Ⓔ	④	④	④		④	●	④	④	Ⓔ
	⑤	⑤	Ⓕ	⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	●	⑤	Ⓕ
	⑥	●	Ⓖ	⑥	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	●	Ⓖ
	⑦	⑦	Ⓗ	⑦	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	●
	⑧	⑧	Ⓖ	⑧	⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	Ⓙ
⑨	⑨	Ⓚ	⑨	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	Ⓚ	

(注意) この場合、0も必ず塗りつぶしてください。

3 解答方法

(1) 出題形式は五肢択一を基本とする多肢選択形式となっています。各問題には1から5まで5つの答えがありますので、そのうち、問題に対応した答えを〔例1〕では1つ、〔例2〕では2つを選び、解答用紙に解答してください。

〔例1〕 問題 201 次のうち、県庁所在地として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 函館市
- 2 郡山市
- 3 横浜市
- 4 米子市
- 5 北九州市

正答は「3」ですので、解答用紙の

問題 201 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、③ を塗りつぶして、

問題 201 ① ② ● ④ ⑤ としてください。

〔例2〕 問題 202 次のうち、首都として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シドニー
- 2 ブエノスアイレス
- 3 上海
- 4 ニューヨーク
- 5 パリ

正答は「2と5」ですので、解答用紙の

問題 202 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、② ⑤ を塗りつぶして、

問題 202 ① ● ③ ④ ● としてください。

- (2) 採点は、光学式読取装置によって行います。解答は、鉛筆を使用し、○の外にはみださないように濃く塗りつぶしてください。なお、シャープペンシルは問題ありませんが、ボールペンは使用できません。

良い解答の例……………●

悪い解答の例…………… (解答したことになりません)

- (3) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残ったり、 のような消し方などをした場合は、訂正したことになりませんので注意してください。
- (4) 〔例1〕の問題に2つ以上解答した場合は、誤りになります。〔例2〕の問題に1つ又は3つ以上解答した場合は、誤りになります。
- (5) 解答用紙は、折り曲げたり、チェックやメモなどで汚したりしないように特に注意してください。

4 その他の注意事項

- (1) 印刷不良や落丁があった場合は、手を挙げて試験監督員に連絡してください。
- (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。
- (3) 試験終了後、この試験問題はお持ち帰りください。
- (4) この試験問題は、複製、譲渡、電子記録媒体への記録・転載等を固く禁じます。

社会調査の基礎

問題 84 観察法に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 参与観察は、非統制的観察法である。
- 2 参与観察では、活動に参加しつつも観察に比重をおく「観察者としての参加者」であることが求められる。
- 3 観察法では、言語障害のある人も対象者となる。
- 4 フィールドノートについて、記録の間違いに気づいた場合は破棄して、作成し直す。
- 5 フィールドノートには、観察者自身の感情は記載しない。

問題 85 質的調査のデータの整理と分析に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 KJ法は、「データの収集」と「データの整理・分析」を同時並行で繰り返し行う。
- 2 グラウンデッド・セオリー・アプローチに代表されるように、データの解釈の積み上げで研究者独自の概念をつくり出すことを「概念の転用」という。
- 3 「トランスクリプト」とは、データのもつ意味の単位に応じて区切り、名前やラベルを付ける作業をいう。
- 4 データ分析の妥当性を高めるため、同僚やスーパーバイザーに意見してもらう「メンバーチェック」を行うこともある。
- 5 「図解化」とは、コードとコードの関連性を示すため、矢印や説明を付ける作業である。

問題 86 社会調査におけるコンピュータやインターネットの利用に関する次の記述

のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 テキストマイニングは、自由記述の分析には不向きである。
- 2 インターネットを利用した調査では、回答者の誤記入や記入漏れの予防ができない。
- 3 インターネットを利用した調査は、結果が出るまでのスピードの速さに利点がある。
- 4 統計法には、インターネットによる統計の公表が規定されている。
- 5 統計法では、基幹統計で得られたデータを加工して利用することは禁じられている。

問題 87 社会調査の対象に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査は、全体社会から、産業組織，社会集団，個人に至るさまざまなレベルを対象とする。
- 2 社会調査の対象を選定する上で、研究目的の明確化は重要ではない。
- 3 国勢調査では、標本調査が実施されている。
- 4 家計調査では、全数調査が実施されている。
- 5 社会調査では、現地調査によって直接的に調査対象からデータを収集しなければならない。

問題 88 「倫理規程」における倫理に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 調査対象者が調査に同意して協力をした場合、調査途中での調査の中断や拒否は認められない。
- 2 インタビューでICレコーダーなどの機材を用いる場合、先入観を与える可能性があるため、調査対象者には使用を知らせなくてもよい。
- 3 調査票原票や記録媒体は、鍵付きのキャビネットに保管するなど厳重に管理しなければならない。
- 4 調査対象者が中学生以上である場合は、本人の同意が得られれば、調査を実施してもよい。
- 5 個人情報保護への配慮を求めれば、研究者でなくても、調査データに興味をもった個人には自由に閲覧することを認めてよい。

(注) 「倫理規程」とは、一般社団法人社会調査協会が定める「倫理規程」のことをいう。

問題 89 尺度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 順序尺度の数値の幅は、等間隔である。
- 2 名義尺度の数値は、大小関係に意味がある。
- 3 間隔尺度と比例尺度の測定値を表す変数を、定性的変数という。
- 4 間隔尺度、順序尺度、比例尺度、名義尺度のうち、最も水準が高いのは名義尺度である。
- 5 比例尺度は、数値の差だけでなく比率も意味をもつ。

問題 90 クロス集計表とその分析に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2つの量的変数間の関連をみるための、基本的な方法である。
- 2 表示に用いる比率は、行の合計を100とした行%を算出することが望ましい。
- 3 分析する場合、ケース数が5を下回るように各変数を細かくカテゴリー分けする。
- 4 母集団において変数間に何の関係もない場合の各セルの値を、期待度数という。
- 5 変数間の関連の有無を分析するためには、相関係数を用いる。

相談援助の基盤と専門職

問題 91 相談援助における倫理的ジレンマへの対応に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉士は、実践現場との間で倫理上のジレンマが生じるような場合、常に所属組織の決定を優先して行動する。
- 2 社会福祉士は、「自己決定の尊重」や「利用者の秘密の保持」などの倫理規定を踏まえ、利用者の利益を保護する観点から、利用者の行動を制限することはない。
- 3 ドルゴフ（Dolgoff, R.）らによって示された倫理的指針選別順位（EPS）によれば、「社会正義」よりも「自己決定・自律・自由」が優先される。
- 4 ドルゴフらによって示された倫理的指針選別順位（EPS）によれば、「生命の保護」が最も優先される。
- 5 ドルゴフらによって示された倫理的指針選別順位（EPS）によれば、「プライバシーと守秘義務」よりも「誠実さと開示」が優先される。

問題 92 人権擁護の国際的枠組みに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「世界人権宣言」に基づき、1948年第3回国連総会において、毎年12月10日を「人権デー」(Human Rights Day)として、世界中で記念行事を行うことが決議された。
- 2 「世界人権宣言」では、国連加盟国の政策の基調をなすべき原則として、一部の貧困は全体の繁栄にとって危険であることが述べられている。
- 3 「世界人権宣言」は、人権尊重における「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、法的拘束力をもっている。
- 4 「世界人権宣言」では、「経済的権利」「社会的権利」「文化的権利」については明記されたが、「社会保障を受ける権利」は含まれていない。
- 5 「世界人権宣言」において、人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利の承認は、世界における自由、正義及び平和の基礎とされている。

問題 93 アメリカにおけるソーシャルワークの専門職化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 慈善組織協会(COS)による友愛訪問は、19世紀末にリッチモンド(Richmond, M.E.)によって科学的な支援方法として体系化された。
- 2 ニューヨークの夏期学校(夏期訓練講習)は、リッチモンドの発案により開設された。
- 3 リッチモンドは、『社会診断』において、ソーシャル・ケースワークを定義した。
- 4 フレックスナー(Flexner, A.)は、社会事業の専門性について、個人的責任を伴った知性と教育的手段によって伝達可能な技術があることを説明した。
- 5 フレックスナーは、一般にある職業が専門職として成立するための十分条件として、当事者による自己主張や専門教育における学位の授与を提示した。

問題 94 事例を読んで、M相談支援員（社会福祉士）の権利擁護の観点からみたAさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん（40歳，女性）は，慢性疾患のある70代の母親と二人暮らしである。Aさんは母親の体調悪化を契機に仕事を辞め，現在は無職である。預貯金を切り崩しながら生活し，自宅で母親の介護を続けてきたが，まもなく預貯金が底をつきそうであり，また母親の年金は医療費でほとんど消えてしまうため，R市の生活保護の相談窓口を訪れた。対応したケースワーカーから，M相談支援員のいるR市の生活困窮者自立支援センターを紹介された。AさんはM相談支援員に，「できれば就職先を見つけ，自力で生活していけるようになりたい」と話す一方，「母親のことを考えると，自分が就職して働きに出ることがいいのかわからない」「母親には心配をかけたくない」と疲れきった様子で語った。

- 1 Aさんの気持ちを尊重し，ハローワークまで同行するつもりであると伝える。
- 2 Aさんと母親の状況を踏まえ，生活保護を申請するよう助言する。
- 3 Aさんの気持ちを尊重しつつ，希望する生活に向けて一緒に考えていくと伝える。
- 4 Aさんの代わりに今の状況を母親に話し，理解が得られるよう説得すると提案する。
- 5 Aさんが働くことができるよう，介護保険サービスの利用手続きについて説明する。

問題 95 日本における精神科ソーシャルワーカーの発展に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 1973年（昭和48年）に起きた「Y問題」は、精神科ソーシャルワーカーの労働雇用問題への提起となった。
- 2 1981年（昭和56年）に日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会は「精神障害者の経済的自立と福祉のための専門的・社会的活動」を行う組織として位置づけた。
- 3 1982年（昭和57年）の「札幌宣言」では、精神科ソーシャルワーカーの専門性を深めることを目的に、「三点課題」を示した。
- 4 1987年（昭和62年）に、社会復帰施設に配置される職員として「精神保健福祉士」が初めて明文化された。
- 5 1989年（平成元年）に、日本精神医学ソーシャル・ワーカー協会では、身体的機能の低下による機能障害に対処していこうとする「精神科ソーシャルワーカー業務指針」を採択した。

問題 96 アメリカにおけるセトルメント「ハル・ハウス」に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 ロンドンの「トインビーホール」の影響を受けた。
- 2 治安問題への取組みを重視した。
- 3 コイツ（Coit, S.）により、シカゴで開設された。
- 4 問題のある子どもたちに対して、ケースワークが展開された。
- 5 シカゴにおいて、社会改良運動を展開した。

問題 97 次の事例を読んで、地域包括支援センターの**B**社会福祉士がとるべき対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

S市の地域包括支援センターの**B**社会福祉士に、民生委員から「一人暮らしの**C**さん（79歳，女性）が，通帳や印鑑をたびたび紛失して困っている」と相談が入った。それまで面倒をみてきた姉妹たちに対しても，時折，「お前たちがお金を盗ったのだらう」と言うこともあり，対応に苦慮しているとのことであった。**C**さんには，多額の預貯金があるが，自分自身で管理できる能力がなく，また，食事や服薬，入浴などの生活面でも支援が必要な状態であった。

- 1 **C**さんに認知症の疑いがあるため，病院の医療ソーシャルワーカーに以降の対応を任せた。
- 2 社会福祉士には守秘義務があるため，民生委員との情報共有は控えた。
- 3 **C**さんには多額の預貯金があるため，**B**社会福祉士が通帳管理をすることにした。
- 4 地域包括支援センターの保健師と主任介護支援専門員に支援方針を相談した。
- 5 **C**さんは在宅で生活することが困難なので，施設入所ができるよう手続きを進めた。

相談援助の理論と方法

問題 98 社会資源に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 フォーマルな資源は、行政機関がサービス提供しているものに限られる。
- 2 インフォーマルな資源は、安定的な確保がしやすい。
- 3 フォーマルな資源は、クライアントとの関係において親密さや融通性が高い。
- 4 情報は、有形のものではないためインフォーマル資源である。
- 5 内的資源の1つに、クライアントのコンピテンスがある。

問題 99 ケースマネジメント（ケアマネジメント）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ケースマネジャーがキーパーソンとなる個別援助であり、チームアプローチを重視しない。
- 2 クライアントが支援の中心であるため、介護者の負担軽減は支援目標に含まれない。
- 3 ケアプランは、サービス優先アプローチで作成されることが望ましい。
- 4 ケースマネジャーには、コーディネーションやエンパワメントの機能とともに、アドボケート機能が求められる。
- 5 ケースマネジメントは、社会保障の費用を増大させる特徴がある。

問題 100 事例を読んで、D相談支援専門員（社会福祉士）が行う支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Eさん（40歳，女性）は，重度の肢体不自由（身体障害者手帳1級）があり，日常生活の多くの場面で介助を必要としている。Eさんは現在，母親と二人暮らしをしているが，最近，同じ障害のある長年の友人が支援を受けながら一人暮らしを始めたことから，自分も家を出て生活をしたいという思いが強くなった。しかし，母親はそんなことがEさんにできるわけがないとして理解を示さず，Eさんの話に取り合おうとしない。Eさんはこの状況を何とか打開しようと，友人から聞いた相談支援事業所を訪れ，D相談支援専門員との面接を複数回，行ったところである。

- 1 Eさんと母の関係は危機的な状況であるため，危機介入アプローチを検討した。
- 2 Eさんをエンパワメントするために，Eさんに代わって母親を説得する役を引き受けた。
- 3 生活モデルの視点で母子相互の心理的依存について分析し，心理療法を受けることを促した。
- 4 Eさん親子を家族システムとしてとらえ，その閉鎖性を活用することを重視した。
- 5 スtrenghモデルに基づき，主体としてのEさんの強みを見出し，支援していくことを重視した。

問題 101 相談援助の記録に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 過程叙述体とは、ソーシャルワークのプロセスを簡略化して書き留めたもので、ソーシャルワーカーの解釈を含めて記述する。
- 2 ボーエン (Bowen, M.) は、家族システムと環境との相互関係を視覚的に明らかにするための方法として、エコマップを開発した。
- 3 MDS (Minimum Data Set) は、介護や支援を必要とする高齢者をアセスメントするためのツールである。
- 4 記録は援助者側の閲覧資料のため、利用者から申し出があっても開示してはならない。
- 5 情報漏洩^{ろうえい}のリスクを管理するために、記録のIT (情報技術) 化は避けなければならない。

問題 102 相談援助における個人情報の保護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「個人情報保護法」でいう「個人情報」とは、生存・死亡を問わず、氏名や生年月日などの個人に関する情報のことをいう。
- 2 社会福祉士及び介護福祉士法では、個人情報に関する秘密保持義務は課されていない。
- 3 「個人情報保護法」における「個人情報取扱事業者」には、取り扱う個人情報の量が5000以下の事業者は含まれない。
- 4 「個人情報保護法」の規定では、本人の同意を得ずに「要配慮個人情報」を得てはならない。
- 5 厚生労働省内に設置された「個人情報保護委員会」は、個人情報取扱事業者に対する勧告はできない。

(注) 「個人情報保護法」とは、「個人情報の保護に関する法律」のことである。

問題 103 事例を読んで、急性期病院におけるケースカンファレンスでの医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

大学生のFさん(21歳, 男性)は, 交通事故による脊髄損傷で入院加療中である。急性期治療が終わりに近づいてきたため, 今後の治療やケアの方向性を検討するために, 病棟内カンファレンスが開かれた。メンバーは, 医師, 薬剤師, 看護師, 理学療法士, 作業療法士, 医療ソーシャルワーカーで, Fさん自身は体調が優れず不参加だった。Fさんの希望は, 大学生活を再開して好きな勉強を続けることであるが, リハビリテーションが思うように進まず気持ちが焦っている様子である。

- 1 医師に, 大学生活への復帰は難しいので早めにあきらめてもらうよう, Fさんへの説得を依頼する。
- 2 理学療法士及び作業療法士に, リハビリテーションの時間を増やすよう指示する。
- 3 引き続き療養できる医療機関の情報を提示し, 各専門職からの意見を得る。
- 4 看護師に, 焦る気持ちを抑えつけるようなケアを依頼する。
- 5 薬剤師に, Fさんが薬剤への不安をもっていることを伝え, 代わりに医療ソーシャルワーカーが説明することを提案する。

問題 104 集団を活用した相談援助（グループワーク）に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シュワルツ (Schwartz, W.) は、グループワークの展開過程を、準備期、開始期、作業期、終結・移行期の4つの時期で示し、相互作用モデルを提唱した。
- 2 トレッカー (Trecker, H.) は、グループワークを治療グループと課題グループに分類した。
- 3 竹内愛二は、小集団の条件として、対面的な関係にあること、成員の間に相互作用が行われていること、成員相互の間に個人的な印象や知覚を有することの3つをあげている。
- 4 コノプカ (Konopka, G.) は、グループワークの基礎理論であるとされる「場の理論」を提唱した。
- 5 ビンター (Vinter, R.D.) は、グループを通じて各人にはたらきかける治療的グループワークを提唱した。

問題 105 スーパービジョンに関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 スーパービジョンとは、ある特定の領域についての知識技能が必要なとき、各領域の専門家から助言指導を受けることである。
- 2 スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係では、ソーシャルワーカーとクライアントの関係とよく似た状況が起こりやすい。
- 3 スーパービジョンの目的に、組織の機能の維持及び向上は含まれない。
- 4 職場におけるスーパービジョンの実施が困難な場合、職場外のソーシャルワーカーと契約を結んでスーパービジョンを受けることができる。
- 5 我が国において、スーパービジョンを受ける機会のないソーシャルワーカーはいない。

問題 106 事例を読んで、**G**社会福祉士の対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

社会福祉協議会に勤務する**G**社会福祉士は、大学生の頃から他人の視線が気になり、家に閉じこもりがちな**H**さん（21歳，女性）を**Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）につないだ。**G**社会福祉士と一緒に参加した**H**さんは、最初は緊張していたが、この人たちも自分と同じような体験をしている、自分だけではないということがわかり、和らいだ気持ちになった。一方、**G**社会福祉士は、グループに参加する複数のメンバーから、グループ活動がこれでよいのか不安であるという相談を受けた。その後、**G**社会福祉士は**H**さんのこともあり、定期的に**Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）との意見交換の機会をもつことにした。

- 1 **Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）のメンバーたちの悩みの解消に向け、**G**社会福祉士と協働することを提案する。
- 2 **G**社会福祉士自身が、**Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）のリーダーとなることを伝える。
- 3 **Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）では、専門職のもつ「専門的知識」を伝えるように心がける。
- 4 **H**さんが今後も**Y**自助グループ（セルフヘルプグループ）に参加する場合には、グループのリーダーやほかのメンバーに依存すればよいと助言する。
- 5 地域のほかの自助グループ（セルフヘルプグループ）との交流が有効であることを提案する。

問題 107 ソーシャルワークを展開する際に必要な援助者の自己理解に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 援助者が自己理解を深めるためには、他者の目を通した多面的な自己理解は必要ない。
- 2 自分自身の感情表現の傾向がある程度つかめていれば、利用者の感情に巻き込まれる可能性は低くなる。
- 3 ロジャーズ (Rogers, C.) は、援助者の基本的姿勢として、無条件の積極的関心、共感的理解、自己開示の3つをあげている。
- 4 援助者の「逆転移」は、援助関係を形成していく上で望ましいものである。
- 5 関係形成には、言語的なコミュニケーションの占める割合のほうが大きい。

問題 108 ソーシャルワーカーが行う面接の技術等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の話す内容や感情を、ソーシャルワーカーが利用者に返していく技法を共感という。
- 2 利用者の発するメッセージに積極的に耳を傾ける姿勢を、直面化の技法という。
- 3 利用者の日常生活が営まれる環境で行われる生活場面面接では、利用者は緊張しやすいがコミュニケーションへの集中はしやすくなる。
- 4 ソーシャルワーカーには、利用者やその家族に対し、介入方法選択の根拠、期待される効果やリスクについて説明することが求められる。
- 5 利用者が面接に集中できるように、面接室に花や風景画などを置くことは避けたほうがよい。

問題 109 事例を読んで、Z地域包括支援センターのJ社会福祉士の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Z地域包括支援センターのJ社会福祉士は、自宅で認知症の夫の介護をしているKさん（72歳，女性）から、介護に関する相談を受けている。面接を通じて、Kさんが献身的に夫の介護を行っていることを理解したが、面接が進むにつれ、Kさんの表情が曇る場面が多くなり、不安な様子がみられることが気になってきた。Kさん自身は明言しないものの、話の内容からKさんは夫から暴力的な行為を受けている可能性があることがわかってきた。

- 1 Kさんから直接夫の暴力的行為について相談があるまで、しばらく様子を見る。
- 2 傾聴や共感に基づいた面接により、Kさんが言いにくいことも言えるような信頼関係を深めていく。
- 3 Kさんのこの問題に対する対処（コーピング）能力は高いので、緊急度は高くないと判断する。
- 4 面接では、Kさん自身の気持ちを自由に述べられるように「閉じられた質問」を多用する。
- 5 Kさんが夫の暴力的行為について明言しないことから、このまま献身的な介護を続けることがKさんのニーズだと判断する。

問題 110 システム理論に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 システム理論は、生活問題が生じる原因を1つに特定して科学的に説明するために用いられている。
- 2 ベルタランフィ (Bertalanffy, L.) は、自然科学と社会科学の両者を厳密に区分して一般システム理論を構成した。
- 3 キャノン (Cannon, W. B.) は、生物は内的環境の恒常性を保とうとする性質をもっており、その機構をホメオスタシスと名づけた。
- 4 ピンカス (Pincus, A.) とミナハン (Minahan, A.) は、クライアント・システムとアクション・システムの2つのサブシステムの相互作用としてソーシャルワークをとらえた。
- 5 ソーシャルワークは、人と環境が相互に影響し合う境界に立った実践であるということを経験化するために重要である。

問題 111 ソーシャルワークにおけるストレングスモデルに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 個人の内面的な強さに焦点を絞り強化することによって、外部環境の障壁を克服するモデルである。
- 2 支援の科学性や実証性を重視する立場にあり、モダニズム思想の中に位置づけられる。
- 3 クライエントのナラティブに寄り添うことが重視され、主観性や実存性の側面が強調される。
- 4 支援の「対象」としてクライアントをとらえ、解決すべき問題を直線的因果関係の中で特定する。
- 5 地域社会などの外部環境は、クライアントがコントロールできないためストレングスとはみなされない。

問題 112 事例を読んで、子どもやその親に対する支援を展開するNPO法人のLソーシャルワーカーの対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Lソーシャルワーカーが代表を務めるNPO法人では、地域の生活困窮家庭等を対象とした学習支援教室の事業を実施している。そこに市の生活困窮支援センターの紹介で半年前から通うM君（15歳，中学3年生）は、最近学習支援教室を休みがちであり、学校にもほとんど行けていない状況である。M君の母親であるAさん（32歳）は、2度離婚しており、現在は飲食店のパートとして働いているが、精神的な不安定さもあり、仕事を休むことが多く、収入は安定していない。M君には父親の違う弟（5歳）と妹（4歳）がおり、保育所に通っているが、自宅ではM君が身の回りの世話をすることが多い。久しぶりに学習支援教室に顔を出したM君は、「卒業したら働くから勉強しても無駄。だからここにはもう来ない」とLソーシャルワーカーに告げた。当初は高校への進学を希望していたが、進路を考え直したいということであった。

- 1 気持ちを伝えてくれたことに感謝し、M君のこれからについて今後も一緒に考えていきたいと伝える。
- 2 早急に母親のAさんに連絡をとり、高校に進学しないと貧困になるリスクが高いため、M君に進学するよう説得することを求める。
- 3 M君が進学をあきらめた原因は家庭での不適切な養育であると判断し、虐待事案として児童相談所へ通告する。
- 4 家庭の状況がM君の気持ちを不安定にしており、母親のAさんに対してもっと母親としての役割を果たすよう指導する。
- 5 進学か就職のどちらを選ぶにしても、M君や家族を支援するための多職種によるネットワークづくりをクライアントの了解を得ながら進める。

問題 113 ソーシャルサポートネットワークに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ソーシャルサポートネットワークは、フォーマル・サポートのみで構成される。
- 2 クライエントの社会関係においては、フォーマルな関係がまず存在し、それを補完するためにインフォーマルな関係が生じる。
- 3 ソーシャルサポートネットワークを構成するソーシャル・ネットワークには、家族関係は含まれない。
- 4 フロランド (Froland, C.) は、ソーシャルサポートネットワークの方法をネットワーク介入アプローチ、ケースマネジメントアプローチ、システム開発アプローチに分類した。
- 5 ソーシャル・サポートは、本人にとって有益とみなされるネットワークのことを指す。

問題 114 事例を読んで、地域におけるネットワーキングのために**B**福祉活動専門員（社会福祉士）がとる行動として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

T地区で福祉懇談会を開催した際に、地域の中で孤立している人を減らす方法として、住民から「月に1回地域住民が利用できる「みんなの食堂」を運営したい」という意見が出された。そこで、住民が主体となってプロジェクトチームを立ち上げることになり、懇談会に出席していた**B**福祉活動専門員がアドバイザーとしてチームに参加することとなった。

- 1 「みんなの食堂」の運営のために、クラウドファンディング（インターネットを利用した資金調達）の活用を検討する。
- 2 **B**福祉活動専門員のほうが住民よりも専門知識が豊富なので、**B**福祉活動専門員がプロジェクトチームを主導する。
- 3 T地区内の児童養護施設や小児科のある医療機関は、「みんなの食堂」の運営と直接関係がないため、協力は求めなくてもよいと判断する。
- 4 いったんプロジェクトチームを立ち上げたら、地域にニーズがなくても実行に移す。
- 5 課題を協議する場合は、ラウンドテーブル方式で行う。

問題 115 事例を読んで、この時点でのC福祉活動専門員（社会福祉士）によるDさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

地区で活動する民生委員から、C福祉活動専門員のところに「町内のDさんのことについて相談に乗ってほしい」と連絡があった。Dさん（80歳，男性）は，妻が亡くなった5年前からごみを集めたり，野良猫に餌やりをしたりするようになり，近隣から火災や衛生面などに関して不安の声があがっている。民生委員が心配して訪問しても，「帰れ」と追い払われてしまうとのことであった。

- 1 民生委員に今後も継続してDさん宅を訪問するよう，今後の対応をゆだねる。
- 2 Dさんに電話をし，社会福祉協議会に相談に来るよう伝える。
- 3 近隣住民から情報提供を求めることは，事態の悪化につながるので控える。
- 4 Dさん宅に1回限りではなく何度も訪問し，会えなかった場合はメモや名刺で訪問を知らせる。
- 5 Dさんは自身の問題状況を認識できていないため，何が問題かを専門職として定義し，解決策を提案する。

問題 116 危機介入アプローチに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 キャプラン (Caplan, G.) は、ボストンで発生した火災によって死亡した遺族への調査を「死別による急性悲嘆反応研究」としてまとめた。
- 2 リンデマン (Lindemann, E.) は、移民の子どもの適応過程に関する研究を行い、危機的状況をあらかじめとらえ、早期に介入することの重要性を強調した。
- 3 エリクソン (Erikson, E. H.) は、自我心理学における「危機」をそれぞれの発達段階の初期における「緊張」ととらえた。
- 4 ランク (Rank, O.) による意志心理学から影響を受けており、援助に消極的なクライアントに対しては効果が望めないと考えられている。
- 5 フロイト (Freud, S.) の精神分析理論を取り入れ、第一次世界大戦の帰還兵士の治療に用いられたアプローチであった。

問題 117 実践アプローチのアセスメントに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ナラティブアプローチでは、クライアントの語るオルタナティブストーリーの傾聴から援助が展開される。
- 2 行動変容アプローチでは、観察可能な具体的行動について、その頻度や仕組みがアセスメントの焦点となる。
- 3 機能的アプローチでは、クライアントの意思をアセスメントするためにMCOモデルが確立された。
- 4 危機介入アプローチにおいては、危機状態にある段階で心理社会的アプローチと並行して援助を進めると効果が高まる。
- 5 心理社会的アプローチは診断主義アプローチの流れを汲んでいるため、アセスメントにおいて「状況の中の人間」という観点はない。

問題 118 事例を読んで、エイズ診療拠点病院（U病院）のEソーシャルワーカー（社会福祉士）の援助の初期段階における応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Fさん（45歳，男性）は，無料・匿名で受けられる血液検査でHIV陽性であることがわかり，U病院に来院した。U病院では，HIV陽性患者は初診時，最初にソーシャルワーカーと面談するシステムをとっている。面談でFさんは，「検査結果が出てHIVに感染していると告げられた時，何が何だか理解できなかった。それから数日経過し，いろいろな不安を感じ始めた。誰にも相談できない。恐ろしくて恐ろしくて，夜も眠れない。いっそ死んでしまったほうが楽だとも考えるようになった」と，Eソーシャルワーカーに話した。

- 1 「HIV感染症は，今では多様な治療方法も確立されていて，すぐに亡くなってしまふことはないですよ」
- 2 「感染を知り，死んでしまいたいと思うことは多くの方が経験していますが，今の危機的な状況はあと数日で過ぎ去りますよ」
- 3 「誰にも話せず，とてもつらい毎日だったと思います。Fさんの感じている不安について，話しやすいことから結構ですのでお話しいただけますか」
- 4 「Fさんは死んでしまいたいと思うことが多々あるのですね。まずは精神科を受診して，落ち着いてから今後のことを考えましょう」
- 5 「患者さん同士の交流会がいくつかありますのでご紹介します。パンフレットもありますので，ぜひ連絡をとってみてください」

福祉サービスの組織と経営

問題 119 社会福祉法人の「地域における公益的な取組み」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 第一種社会福祉事業のみを運営している法人は、この責務を負わない。
- 2 低額であっても料金を課される福祉サービスは、これにあたらぬ。
- 3 法人が運営する施設の利用者と住民の交流を目的とした祭りは、これに該当しない。
- 4 地域における公益性が担保されていれば、福祉サービスでなくてもよい。
- 5 介護保険サービスにかかる利用者負担の軽減を目的とするものは、これにあたらぬ。

問題 120 福祉サービスの担い手である法人に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 医療法人は、第一種社会福祉事業を行うことができない。
- 2 医療法人の理事長は、原則、医師と歯科医師しかなることができない。
- 3 医療法人は、非営利法人であるため、法人税は非課税対象となる。
- 4 NPO法人の設立は、認可主義である。
- 5 NPO法人は、特定非営利活動促進法の「市民が行う自由な社会貢献活動」の寄与のため、一人から設立できる。

問題 121 コンティンジェンシー理論に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 あらゆる経営環境における唯一最善の組織形態を求め、示している。
- 2 単純・反復した作業として標準化することが最も効率的であるとし、管理・組織化した。
- 3 福祉サービスにおいては、ピラミッド型組織が向いているとしている。
- 4 組織の形態はさまざまな形でよいが、リーダーシップの形は1つであるべきとしている。
- 5 組織の構造は、経営環境やおかれている立場、経営戦略によって、そのつど変化するとしている。

問題 122 集団に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 公式組織において、リーダーシップの重要性は問われない。
- 2 非公式組織において、各個人間の相互作用はみられない。
- 3 ホーソン実験によって、金銭的インセンティブが最も集団の業績を上げることがわかった。
- 4 集団凝集性を高めることは、単純に集団の業績が伸びることにつながらない。
- 5 集団浅慮は、集団の対立（コンフリクト）を高めさせると発生しやすくなる。

問題 123 リーダーシップの基礎理論に関する次の記述のうち、正しいものを1つ
選びなさい。

- 1 オハイオ大学研究では、リーダーシップを「従業員志向型」行動と「生産志向型」
行動で説明した。
- 2 ミシガン大学研究では、リーダーシップを「構造づくり」行動と「配慮」行動で
説明した。
- 3 三隅^{みすみ}不二^{じゅうじ}は、リーダーシップを「目標の価値を高める」行動と「目標への経路
を示しメンバーが目標を達成しやすくする」行動で説明した。
- 4 フィードラー (Fiedler, F. E.) は、リーダーシップを「タスク志向型」行動と「社
会・情緒志向型」行動で説明した。
- 5 金井^{としひろ}壽宏は、行動理論や条件適合理論におけるリーダーシップ行動を、「課題直
結行動」と「配慮行動」に集約できるとした。

問題 124 人材育成に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 福祉人材確保法は、2000年（平成12年）の介護保険法施行に基づいて成立し、「旧人材確保指針」が告示された。
- 2 「旧人材確保指針」では、今後の福祉人材の確保と養成に関する指針として「キャリアアップ」の必要性を指摘している。
- 3 2007年（平成19年）の「新入材確保指針」では、経営者がキャリアアップの仕組みとしてのキャリアパスを構築することとしている。
- 4 経営者には、従事者のキャリアアップを支援する観点から、業務の中で必要な知識・技術を習得できる体制（OFF-JT）や、職場内や外部の研修の受講機会等（OJT）の確保に努めることが求められている。
- 5 「職場研修」という考え方は、「新入材確保指針」に基づいて具体化されたものである。

(注) 1 「旧人材確保指針」とは、「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」（平成5年厚生省告示第116号）のことである。

2 「新入材確保指針」とは、「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」（平成19年厚生労働省告示第289号）のことである。

問題 125 労務管理に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働三法とは、労働基準法、労働組合法、最低賃金法の3つをいう。
- 2 労務管理において、法令の次に優先される規定は、労働契約である。
- 3 労働組合と使用者の間で合意し書面にした労働協約は、就業規則の次に優先される。
- 4 過労死の問題を契機に「サービス残業」の問題がクローズアップされ、2014年（平成26年）6月に過労死等防止対策推進法が成立した。
- 5 労働組合との協議や交渉を行う労使関係管理は、労務管理に含まれない。

高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 126 「平成29年版高齢社会白書」（内閣府）における高齢者の暮らしに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 都市規模にかかわらず、「コンビニエンスストア」が徒歩圏内（自宅から500m圏内）にあると回答した人は5割程度である。
- 2 日常の買い物の仕方として、「家族・親族に頼んでいる」が最も多い。
- 3 買い物に行く際の主な手段は、大都市、町村ともに「自分で自動車等を運転」が最も多い。
- 4 女性の場合、75歳以上では、買い物に行く際の主な手段は「自分で自動車等を運転」の割合が少なく、「徒歩」が最も多い。
- 5 75歳以上の女性が、日常の買い物についてのサービス利用や支援を受けている理由として、「交通手段がない、交通が不便」が最も多い。

問題 127 国際生活機能分類（ICF）と高齢者の理解に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 生活機能とは、「心身機能・身体構造」「活動」「参加」のことを指す。
- 2 高齢者の理解では、各要素の相互作用は把握しない。
- 3 活動と参加では、「実行状況」と「能力」について把握する。
- 4 否定的な側面から高齢者を把握することはしない。
- 5 背景因子に、個人因子は含まれない。

問題 128 下肢機能が低下しているが、歩行は可能な高齢者に対して使用する福祉機器として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トランスファーボード
- 2 自動排泄^{はいせつ}処理装置
- 3 移動用リフト
- 4 スライディングシート
- 5 歩行アシストロボット

問題 129 事例を読んで、BPSD（認知症の行動・心理症状）を伴う認知症高齢者へのこの時点での対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Gさん（80歳，女性）は，血管性認知症があり，最近ではBPSDが見られるようになってきた。グループホームの管理者であるHソーシャルワーカー（社会福祉士）は，ある日，Gさんから呼び止められ，「最近，周りの人が私の悪口を言っていて，私を邪魔者扱いしている」という訴えがあった。ほかの介護職員にも「周囲の人が監視している」「周囲の人が私を見張って，私のお金を盗ろうとしている」という話をするのが頻繁に起こっていた。

特にGさんと周囲との具体的なトラブルは起こっておらず，Gさんが訴えかけるような事案はない。また，Gさんはふだん，ほかの利用者と一緒に，レクリエーションや散歩にもよく参加し，楽しそうにしている様子である。

- 1 誰が悪口を言っているのか聞き，その利用者に，態度に注意してほしいことを伝える。
- 2 誰も悪口を言っていないことを伝え，Gさんの妄想であることを伝える。
- 3 「邪魔者扱いされているように感じているのですね」と言葉を返し，傾聴する。
- 4 いつもほかの利用者と楽しそうにレクリエーションをしていることを伝える。
- 5 肯定も否定もせずに傾聴・共感した後，さりげなく話題をほかの楽しい話題などに変える。

問題 130 介護保険制度の費用に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2018年（平成30年）の介護報酬改定では、全体として「マイナス改定」になった。
- 2 2018年（平成30年）の介護報酬改定では、介護老人福祉施設における医師の緊急訪問に対し、介護報酬が算定できるようになった。
- 3 前回の介護報酬改定は、2013年（平成25年）であった。
- 4 利用者の自己負担割合は、所得にかかわらず一律3割に引き上げられた。
- 5 利用者による自己負担分を除いた介護報酬の支払いは、社会保険診療報酬支払基金を通して行われる。

問題 131 介護保険のサービスに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険での施設サービスとは、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護を指す。
- 2 介護老人保健施設は、病状安定期にある高齢者が対象であるため、医師の配置は義務づけられていない。
- 3 介護医療院は、長期療養のための医療と日常生活上の世話を一体的に提供する施設である。
- 4 介護療養型医療施設は、2017年度（平成29年度）をもって廃止された。
- 5 特定施設入居者生活介護は、養護老人ホームに入居する要介護者は対象とならない。

問題 132 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 第1号被保険者の保険料については、国が徴収率を定め、市町村が徴収の実務を行う。
- 2 市町村は、財政安定化基金を設置しなければならない。
- 3 市町村は介護保険審査会を設置し、要介護認定を行うとともに、要介護認定結果に対する不服申立ての審理・裁定を行う。
- 4 都道府県は、3年を1期として介護保険事業計画を策定しなければならない。
- 5 国は、介護保険の財政を調整するために市町村に調整交付金を交付する。

問題 133 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者とは、70歳以上の者と定義されている。
- 2 対象となる養介護施設の中に、老人福祉法による有料老人ホームは含まれない。
- 3 養介護施設従事者による高齢者虐待の類型に、経済的虐待は含まれない。
- 4 虐待を通報した者の守秘義務は免除される。
- 5 措置された施設の長は、虐待を行った養護者の面会を制限することはできない。

問題 134 事例を読んで、虐待を疑われるケースでのチームアプローチのあり方に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

地域包括支援センターに所属する介護支援専門員に対し、通所介護事業所から電話で、利用者であるJさん（80代、女性、要介護1）に夫が強い口調で叱責や暴言を浴びせているという相談があった。Jさんは最近、物忘れが激しく、家事で失敗が多くなってきている。介護保険サービスは週2回の通所介護を利用している。事実確認を行った結果、虐待のケースとして対応をしていくこととなった。

- 1 Jさんが利用している通所介護事業所は、高齢者虐待対応協力者には含めない。
- 2 認知症の専門医を受診し、医師を中心に対応を検討していく。
- 3 居宅サービス計画の中で、老人福祉法による措置での特別養護老人ホームの入所を行う。
- 4 虐待対応支援計画の一部に、Jさんの居宅サービス計画を位置づけ、虐待対応を行っていく。
- 5 Jさんに対し、市町村長による成年後見制度の申立てを行う。

問題 135 サービス付き高齢者向け住宅に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 有料老人ホームについては、サービス付き高齢者向け住宅として登録ができない。
- 2 敷金・家賃・サービス対価以外の金銭の徴収を行ってはならないことになっている。
- 3 高齢者の居住の安定確保に関する法律に、高齢者向け優良賃貸住宅とともに定められている。
- 4 サービス付き高齢者向け住宅は、市町村への登録が必要である。
- 5 バリアフリー基準については、特に設けられていない。

児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題 136 事例を読んで、児童相談所のK児童福祉司（社会福祉士）の対応として、この時点で適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

K児童福祉司は、ある日、中学3年生のL君からの電話を受けた。L君の話では、母は離婚後、別の男性と生活をともにするようになり、L君はその男性から、勉強や生活上のささいなことで、何度も暴力や暴言を受けているという。L君は友達が多く、学校の先生ともあまり言葉を交わさないという。話を聞いてくれる人もなく、家に戻るとまた怒鳴られるので、怖くて帰りたくないと言った。

- 1 本人に来所を促し、周囲に気づかれないよう一人で来るようにと助言する。
- 2 児童相談所が必ず本人の安全を守ることを伝え、子どもの状況を把握する。
- 3 学校の先生に相談するよう助言する。
- 4 緊急の場合は、近所の人に助けを求めるように助言する。
- 5 母親に連絡して、本人の申し出が正しいか確かめる。

問題 137 スクールソーシャルワーカーに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 スクールソーシャルワーカーは、全国の小中学校に1名ずつ配置されている。
- 2 スクールソーシャルワーカーは、退職校長等の教育経験者が担うことはない。
- 3 スクールソーシャルワーカー配置の背景に、不登校やいじめなど、学校で起きている諸問題の深刻化がある。
- 4 スクールソーシャルワーカーの社会福祉士資格保有者は、2015年（平成27年）の採用者では80%を超える。
- 5 スクールソーシャルワーカーの職務内容に、教職員等への福祉制度の仕組みや活用等に関する研修活動は含まれていない。

問題 138 児童扶養手当に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童扶養手当法は、家庭等における生活の安定への寄与と次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に創設された。
- 2 受給世帯をみると、最も多いのは「未婚の世帯」である。
- 3 支給に所得制限はなく、一律に行われる。
- 4 費用負担は、国が2分の1、都道府県又は市町村が2分の1である。
- 5 父子家庭にも受給することができる。

問題 139 母子保健法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村は、母子保健事業について、都道府県と連携は行わない。
- 2 幼児とは、満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者のことを指す。
- 3 妊娠した者は、市町村長に妊娠の届出を行う。
- 4 都道府県は、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行わなければならない。
- 5 母子生活支援施設の設置について定めている。

問題 140 「平成28年度福祉行政報告例」(厚生労働省)における「児童相談所における児童虐待相談の対応件数」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2016年度(平成28年度)の児童虐待相談の対応件数は、約8万件である。
- 2 「主な虐待者別」では、「実母」が全体の過半数を占めている。
- 3 「相談種別対応」では、「身体的虐待」が最も多い。
- 4 「被虐待者の年齢別」では、「7～12歳」が全体の過半数を占めている。
- 5 「主な虐待者別構成割合の年次推移」では、「実父」の構成割合は年々上昇している。

問題 141 家庭支援専門相談員の業務に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 妊産婦等の相談に、継続的・包括的な切れ目のない支援を行う。
- 2 虐待等の家庭環境上の理由によって施設入所している児童の保護者や退所後の児童に、相談援助を行う。
- 3 被虐待児童等の個別の対応が必要とされる児童に、個別面接を行う。
- 4 養子縁組を希望する家庭に、相談援助を行う。
- 5 虐待等による心的外傷等のため心理療法を必要とする児童に、生活場面面接を行う。

問題 142 事例を読んで、児童相談所の対応に関する次の記述のうち、この段階で最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Mちゃん（6歳）は、母による身体的虐待を理由に児童養護施設V園に入所していた。MちゃんはV園を3月に退所し、家庭引き取りとなった。ある日、Mちゃんが通う保育園より、夏休み明けからMちゃんが保育園を休み続けていること、家庭と連絡がとれなくなっていることが児童相談所に報告された。児童相談所の担当児童福祉司は、V園の家庭支援専門相談員とともにMちゃん宅を訪れたが、玄関に出てきた母は、「Mは元気になっている。ちょっと人には会わせたくない。帰ってほしい」と言うばかりで、Mちゃんに会わせてくれようとしなない。

- 1 Mちゃんが通う保育園に連絡し、Mちゃんの園での様子について情報提供を依頼する。
- 2 裁判所に、臨検・捜索の許可状を請求する。
- 3 母親を説得してもMちゃんの安否が確認できない場合、立入調査を行う。
- 4 Mちゃんの母に、カウンセリングを勧める。
- 5 Mちゃんの母に、後日、Mちゃんとともに児童相談所に来るよう求める。

就労支援サービス

問題 143 「障害者総合支援法」の改正に伴い、2018年（平成30年）4月に施行された就労支援施策に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 新たに就労定着支援が創設され、企業への就労後にも、生活面の安定による就労の継続を目指して、2年間を上限として支援を受けることができる。
- 2 就労定着支援では、特別支援学校から直接就労した障害者や、個人での活動により企業等へ就労した障害者に対する支援もサービス報酬の対象である。
- 3 自立訓練（機能訓練・生活訓練）においては、就労支援を行うことで利用者が企業就労し、6か月以上就労が継続できた場合であっても、サービス報酬の対象とはならない。
- 4 就労移行支援事業所は、企業就労の移行実績に加えて、就労後6か月以上定着した者の割合に応じてサービス報酬が設定されることとなった。
- 5 就労継続支援B型事業に対しては、利用者に対する目標工賃の達成度合ではなく、平均労働時間に応じて報酬が算定されることになった。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 144 事例を読んで、障害者雇用施策に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

中小企業のW社（常用労働者数50人）から、障害者就業・生活支援センターのA支援員（社会福祉士）に連絡があり、精神障害者の雇用を検討していると連絡を受けた。A支援員は、W社での具体的な業務内容を確認し、利用者の中でもBさんの希望や能力等とマッチしていると考え、紹介したところ、面接を受けることになった。その結果、実習を経て採用になった。

A支援員は、Bさんから採用に際しての希望する合理的配慮として、「遠回りになるが、人の少ない乗換駅を利用し通勤したいこと」と、「一人で休憩できる場所が欲しいこと」の相談を受けた。そこで、A支援員は、Bさんの申し出の場面に同席し、Bさんの支援を行った。

- 1 常用労働者数が100人以下であり、法定雇用率を超えて障害者を雇用した場合には、障害者雇用納付金制度に基づく報奨金を受け取ることができる。
- 2 「障害者雇用促進法」が改正され、2018年（平成30年）より、常用労働者数50人以上の企業に対して、2.3%（当分の間は2.2%）の法定雇用率が適用されることとなった。
- 3 「障害者雇用促進法」の改正によって、2018年（平成30年）より、企業は、精神障害者が短時間雇用であっても、すでに雇用されている精神障害者全員を含めて、1カウントとして法定雇用率に換算できるようになった。
- 4 企業は、障害者の雇用において合理的配慮の提供義務はあるものの、配慮事項の可否の決定は、企業の規模を考慮し、都道府県労働局が行う。
- 5 企業は、合理的配慮の申し出に対して、通勤については経済的な配慮であるため了承する必要があるが、休憩場所に関しては物理的理由であるため了承する必要はない。

（注） 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

問題 145 労働者の働き方の状況に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2016年(平成28年)において、週60時間以上就業する雇用者の割合は5%を下回っている。
- 2 業務における強い心理的負荷によって精神障害を発病したとする労災請求件数は増加傾向にあり、2016年度(平成28年度)には過去最多となった。
- 3 2016年度(平成28年度)において、業務における強い心理的負荷によって精神障害を発病したとする労災請求件数の最も多い業種(大分類)は、「製造業」である。
- 4 2016年(平成28年)において、年次有給休暇の取得率は70%を超えている。
- 5 2016年(平成28年)において、男性の育児休業取得率は5%を超えている。

問題 146 事例を読んで、生活困窮者自立支援制度における就労支援やそれを支える基礎となる生活の支援に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Cさん（20代，男性）は，専門学校卒業後，職を転々としながら，直近は寮のある工場で契約社員として半年ほど働いていた。しかし，会社の業績が悪化し雇用契約は更新されず，社員寮から退去を求められていた。そこで，「社員寮を出されて，家がなく困っている」と相談に訪れた。話を聞いていくと，Cさんはこれまでさまざまな仕事を経験してきているが，6か月以上同じ場所で働いた経験がない。なぜ働けなかったのかを聞くと，「職場の人間関係も悪く，仕事が好きになれなかったから」とCさんは答えた。両親は健在であるが，Cさんは両親との折り合いが悪く，単身生活を続けてきており，「親には頼りたくない」と考えている。また，Cさんは生活を立て直すために生活保護制度の利用を希望している。

- 1 Cさんは十分に就労可能な状況であるから，公共職業安定所（ハローワーク）に行って職探しをするよう助言する。
- 2 Cさんは現在，住居を喪失しているため，住居確保給付金を利用するよう助言する。
- 3 Cさんは家族との関係が悪化しており，これを改善する必要があると考え，Cさんの家族に連絡をとるように伝える。
- 4 Cさんは就労を継続することに困難を抱えているためすぐに自立することは難しいと判断し，就労準備支援事業を利用するよう助言する。
- 5 Cさんは若くて働けるため生活保護制度の対象とはならないと判断し，生活保護制度は利用できないと伝える。

更生保護制度

問題 147 保護観察に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護観察は、国の機関において行われる。
- 2 保護観察は、保護観察所の長の決定により開始される。
- 3 保護観察の対象は、開始時に自立した生活を送ることができる者に限られる。
- 4 保護観察の対象者は、各自の遵守事項を自分で決定する。
- 5 保護観察において、対象者の保護者に対する措置はない。

問題 148 保護観察における専門的処遇プログラムに関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 特定の犯罪的傾向を改善するためのプログラムとして、厚生労働大臣が定める。
- 2 認知行動療法を理論的基盤として開発された。
- 3 受講を希望する者のみを対象として行われる。
- 4 薬物再乱用防止プログラムでは、簡易薬物検出検査も併せて行われる。
- 5 刑事施設で特別改善指導を受講した者は、同種のプログラムを受けることができない。

問題 149 更生緊急保護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 更生緊急保護は、更生緊急保護法に規定されている制度である。
- 2 更生緊急保護は、その対象者すべてを施設に入所させて行う。
- 3 更生緊急保護の対象者には、保護観察対象者は含まれない。
- 4 更生緊急保護は、その対象となる者の意思に関係なく行うものとされている。
- 5 更生緊急保護に関する事務は、地方更生保護委員会が所掌している。

問題 150 事例を読んで、指定更生保護施設に勤務するD社会福祉士が、保護観察期間中のEさんに対して行うことのできた業務として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

長くホームレス生活をしていたEさん（72歳，男性）は，ある日，空腹に耐えかね，コンビニエンスストアで食料品を万引きした。Eさんは，同様の状況の中，過去にも数回万引きをしたことがあり，今回は裁判で保護観察付の執行猶予判決を受けた。身寄りがなく，帰るところがないため，更生保護施設に入所し，D社会福祉士が担当することとなった。

- 1 Eさんに対する指導監督として，その行状を把握した。
- 2 Eさんの生活態度に合わせ，特別遵守事項を変更した。
- 3 生活行動指針に即した生活をしなかったEさんに対し，不良措置を決定した。
- 4 Eさんの今後の生活（住居，経済的援助，福祉サービス等）について，福祉事務所に相談し，支援を受けられるよう調整した。
- 5 Eさんが養護老人ホームに入所することが決まったため，保護観察の終了を決定した。